

## 3-2 安曇野市における地域公共交通活性化・再生総合事業

### 安曇野市地域公共交通総合連携計画の目標

安曇野市新公共交通システム「あづみん」を地域住民の生活を支える交通手段として定着促進し、改善改良を加え、年間利用者を1日平均利用者数420人とする。

観光施策と連携し、観光地安曇野らしい情報発信を行いながら、観光振興に寄与する公共交通システムを目指す。

### 20年度総合事業計画の概要

#### 1. 事業の内容

##### 1) 新公共交通システム「あづみん」の実証運行

- ・運行期間 平成20年4月～平成21年3月の平日8～17時
- ・運行エリア 市内全域  
(市民が日常生活を行い車両が乗り入れられる地域)
- ・実施主体 予約管理業務 安曇野市社会福祉協議会  
運行業務 南安タクシー(有)  
安曇観光タクシー(株) 明科第一交通(有)  
(株)バイタル
- ・運賃及び利用方法  
大人300円 小学生・障害者100円 未就学児無料  
利用したい便の出発30分前までに電話等にて予約

##### 2) 観光客対応や市外移動の方法について検討

### 安曇野市地域公共交通協議会

安曇野市、長野県、学識経験者、松本電気鉄道(株)、南安タクシー(有)、安曇観光タクシー(株)、明科第一交通(有)、(株)バイタル、交通事業関係労働組合、長野県バス協会、長野県タクシー協会、社会福祉協議会、各地域審議会、道路管理者、安曇野警察署、長野運輸支局他

【事務局】安曇野市企画政策課内 0263-71-2000



運行車両 写真

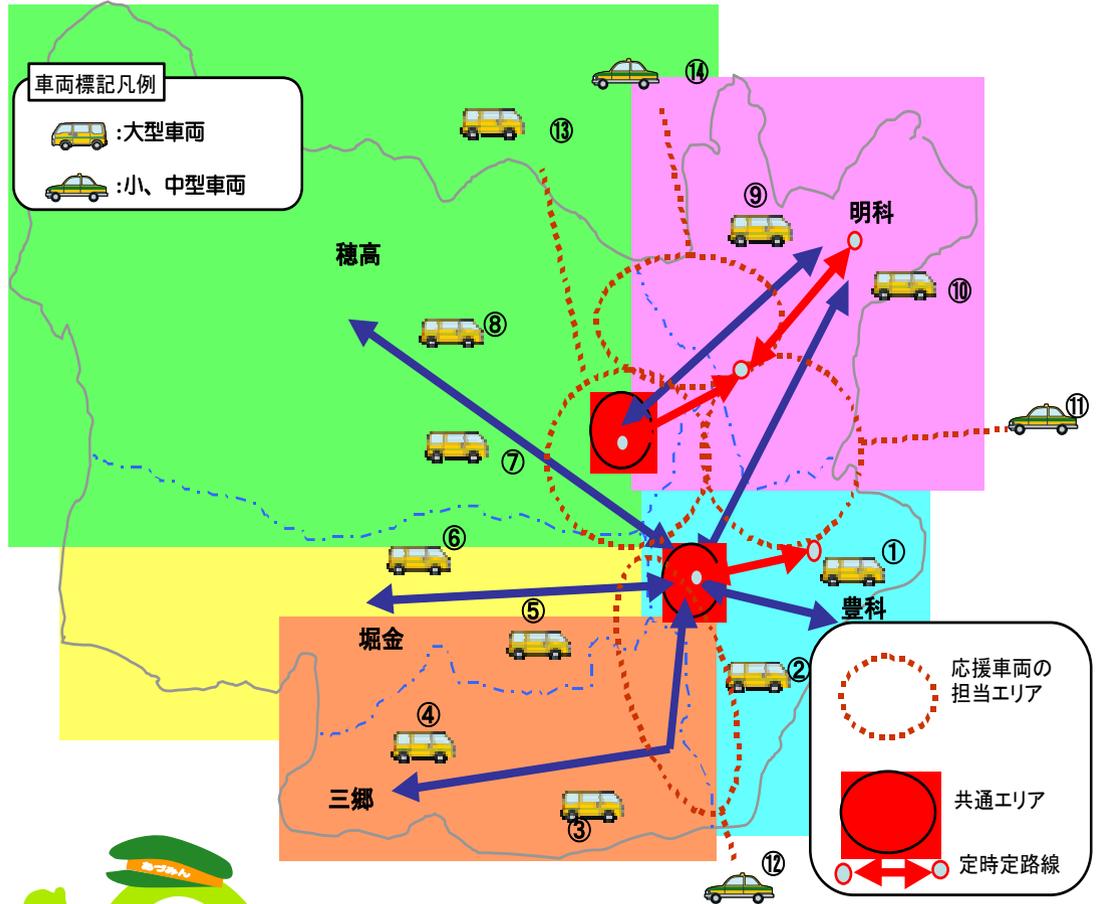
## 2. プロセス 創意工夫

- 利便性の高いフルデマンド方式を採用することにより、市内全域で交通の空白地帯を解消し、病院や商店等へのアクセス向上等住民生活の質的向上を図る。
- 利用実態調査を行い、市民ニーズを把握しながら、協議会等にて検討をすすめ改善改良を図る。
- 観光客対応や市外移動について検討し、総合的な交通システムを目指す。
- 市の広報やホームページ等で情報発信し周知を図る。

## 3. 事業費等(単位:千円)

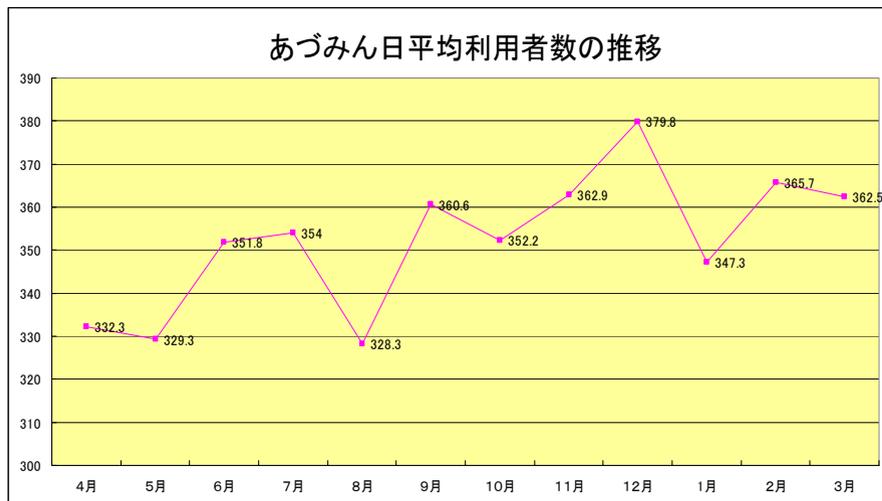
■ 総事業費	95,251
● 利用収入	19,947
● 市負担金	53,304
● 総合事業費補助金	22,000

## 実証運行における車両配置イメージ



あづみんマスコットキャラクター

#### 4. 利用実績



#### 6. 今後の課題

- 本格運行に向けた利用者への周知と利用の定着
- 更に利用しやすいシステムとする為の検討と改善改良
- 市外移動や、観光客対応方法の検討と構築及び連携

#### 21・22年度の事業予定

- あづみん(定時定路線含)の実証運行
- 市外移動や観光客対応方法の検討と運行及び情報発信
- パークアンドライドの整備

#### 5. 事業実施効果

- 実証運行により、交通空白地帯が解消され、病院や商店等へのアクセス向上等住民生活の質的向上が図られた。
- 9月と12月に実施した利用実態調査によるとあづみんが運行されて本当に良かった、あるいは不満もあるが概ね良かったと答えいただいた方が合計88%・89.4%と好評を得ている。

調査内容	あづみん		定時定路線		1回利用者	未利用者
	9月下旬	12月下旬	9月下旬	12月下旬	9月下旬	9月下旬
調査数	134人	208人	21人	18人	72人	68人
運行されて本当に良かった	76.1%	85.1%	81.0%	77.8%	44.4%	30.9%
不満もあるが概ね良かった	11.9%	4.3%	14.3%	16.7%	19.4%	17.6%
以前の方が良い	0%	0.5%	0%	0%	8.3%	5.9%
路線・循環バスの方が良い	1.5%	0%	—	—	8.3%	14.7%
やめてしまった方がよい	0%	0%	0%	0%	1.4%	1.5%
その他	2.2%	2.4%	0%	0%	2.8%	19.1%
不明	8.2%	7.7%	4.8%	5.6%	15.3%	10.3%

- 4月から3月までの日平均利用者数は乗合タクシー 351.9人 定時定路線22.0人となった。
- 市外移動や観光客対応について検討する中で、21年度から具体的に、中房定期観光バスを高速バスと連携する為の路線延長を行う事となった。